



ブルー ボーダー Blue Border

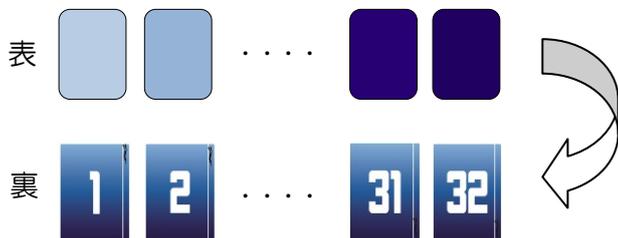
- プレイ人数 : 2~4人 (4人推奨)
- プレイ時間 : 10~20分程度
- 対象年齢 : 10歳以上

1. ゲームの概要 (どんなゲーム?)

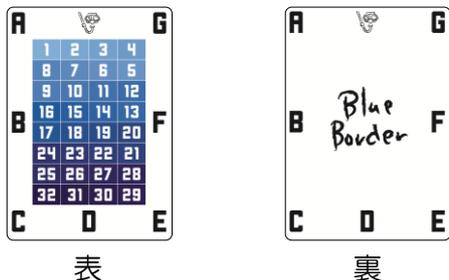
皆さんは「ダイバー」となって、明るさ(深さ)が少しずつ異なる32枚の「ブルーカード」を取り合います。
海に潜り、一番早く陸まで戻ってきたダイバーが勝利です！
ただし、ボーダーラインにはくれぐれもご注意を・・・

2. コンポーネント

(1) ブルーカード (32枚)



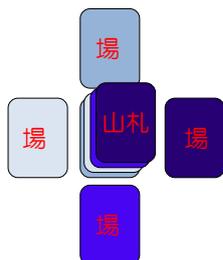
(2) ダイバースカード (4枚)



3. ゲームの進め方

(1) ゲームの準備

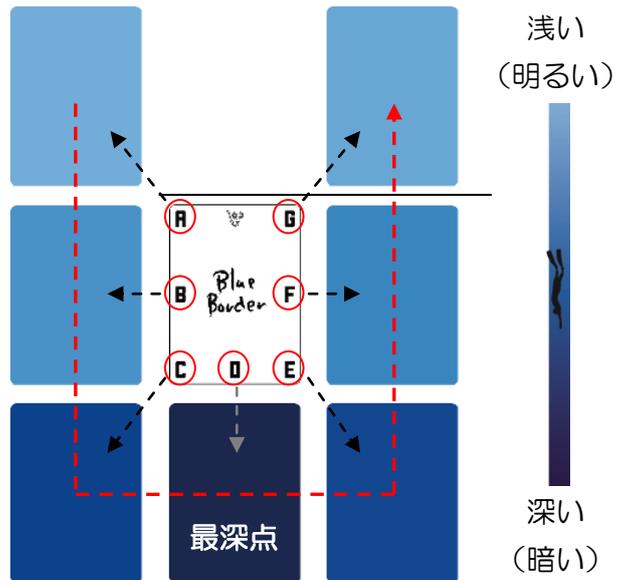
- ① 各ダイバーはダイバースカードを自分の前に置きます。
※ 表裏の向きはどちらでもOKですが、初プレイの方は、色見表のある表側のご使用をおすすめします。
- ② ブルーカードをよくきり、山札としてプレイスペースの中心に置き、4枚のカードをめくって場に出します(下図参照)



- ③ スタートダイバーを決定します。最も海を愛する人か、じゃんけん等で仲良くお決め下さい。

(2) ゲームの基本的なルール

各ダイバーは、自分のダイバースカードを中心として、AからGのポイントの順に、ブルーカードを配置していきます。



AからDは、徐々に深く(暗く)なるように、
DからGは、徐々に浅く(明るく)なるようにカードを配置して、
最も早くGポイントまで到達したダイバーの勝利です！

<重要>

- カード配置の際、「ボーダーライン」と「ボトムス」という基準値を下記の通り設定します。
- ボーダーライン：配置される各カード間の数字差のボーダー。標準ルールでは「9」、厳しめルールでは「8」とします。
 - ボトムス：Dに配置するカードの最低値。「25」とします。
(但し、ダイバーの熟練度に応じて、適宜設定して構いません!)

各ダイバーは、以下のルールを守って、カードを配置します。

- ① AとGには、1から「ボーダーライン」までのカードを配置。
(例) 標準ルールでは、1~9まで配置できる。
- ② AからGまでの深さの順番を間違えないように配置。
- ③ B~Gに配置するカードは、直前のカードとの差が「ボーダーライン」以内のカードを配置。
(例) Aに1を置いた場合、Bには9まで配置できる。
- ④ Dは、「ボトムス」の数字より大きい(深い)カードを配置。
(例) Dには25以上のカードを配置できる。

なお、ブルーカードは表側(数字なし)しか見えないため、
ダイバーは^{ブルーボーダー}青の境界を見極めてカードを取る必要があります。

ただし、上記ルールを満たしていない場合であっても、
「ボーダーコール」を受けなければ、配置できません(後述)。

(3) ゲーム開始 (Let's Dive!)

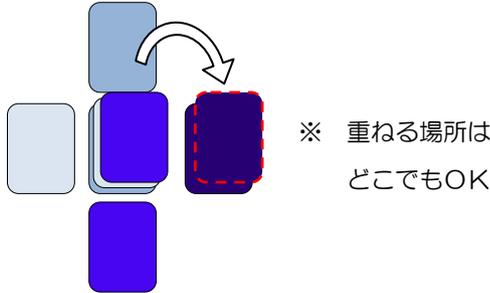
スタートダイバーから、時計回りにターンが回ります。

各ターンは、以下の流れで進行します。

① 自分のターンとなったダイバーは、山札、または場に出ている最上面のカードから 1枚取るか、またはパスをします。

② (パスする場合)

パスをする場合は、まず「パス」と宣言した上で、山札から1枚めくり、場のいずれかのカードの上に置きます。



次のダイバーが場からカードを取る場合には、場の最上面のカードから、カードを取ることが出来ます。

⇒ **(重要)** 下にあるカードは、上のカードが取り除かれないと、取ることができません。

③ (カードを取る場合)

山札、または場のカードから1枚を取り、ダイバースカードのA～Gに配置します。カードの配置はAから順番に行います。

- 一度のターンに取れるカードは1枚までです。
- 場のいずれかのカードがなくなった場合は、山札からカードをめくって場に置き、4枚引ける状態に戻します。

• **(重要)** カードに触ったら、「パス」はできません。

⇒ パスをしたい場合は、必ず先にパスを宣言しましょう。

④ **(重要)** ボーダーコール

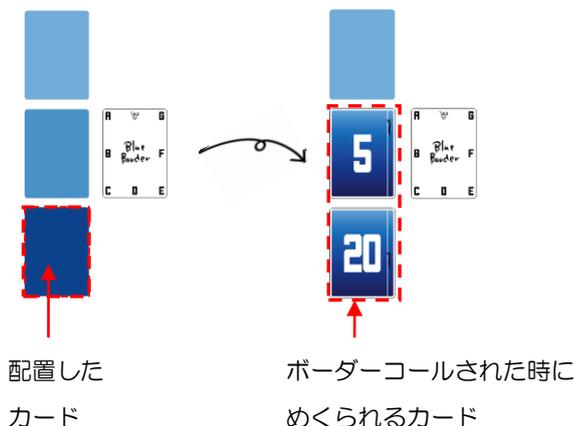
ダイバーX (仮名) の配置したカードが、(2) 項のルールに違反していると思った他のダイバーは、

すかさず **「ボーダー！」** と宣言します。

宣言は、ダイバーXがカードに触った瞬間からすることができ、最も早く宣言したダイバーがボーダーコールの権利を得ます。

ボーダーコールを宣言されたダイバーXは、

配置したカードと、その直前に置いたカードをオープンします。



⑤ ボーダーコールが成功した時

ボーダーコールの結果、ダイバーXがルールを違反していた場合、ダイバーXはオープンしたカードを全て捨て札にします。

更に、ボーダーコールを宣言したダイバーは、以下のどちらかのアクションを選択することができます。

ただし、選択した後に撤回することはできません。

⑤-1 : 捨て札の中から好きなカードを1枚取り、自分の場に配置。

⑤-2 : 山札を含む最上面のカードから好きなカードを1枚取り、自分の場に配置。

<注意点 (重要) >

- 選択した中に配置したいカードが無い場合は、取らなくても良い。
- ボーダーコールの成功によって配置された新たなカードに対しても、他のダイバーはボーダーコールをすることができます。

⑥ ボーダーコールが失敗した時

ダイバーXがルールを違反していなかった場合、ボーダーコールを宣言したダイバーは、最後に配置したカードを捨て札にします。

⇒ 捨てられるカードが無い場合は、次のターンを一回休みとします。

⇒⇒ その場合、一回休みを終えるまでボーダーコールはできません。

⑦ 一番最後にボーダーコールをされたダイバーの次のダイバーからターンを再開します。

⑧ 山札が無くなったなら、場と捨て札のカードを全て切り直して、新しい山札とし、4枚のカードを場に置いて再スタートします。

⑨ 一番早くGポイントに到達したダイバーが勝利となります。

⇒ ただし、Gに置かれたカードにもボーダーコールができます。

4. 勝敗が決したら

見事なダイブを決めたダイバーに対し、尊敬の意を込めて、惜しみない拍手と共に「ベストダイバー」の栄光を称えましょう。

5. 更なる深みを追求するダイバーたちへ…

- **ボーダーライン** と **ボトムス** は、熟練度に応じて自由に変更しても良いでしょう。また、プレイ人数が少ない場合には、使用カード枚数を減らして遊んでもゲーム性が変わります！
(例：3人プレイの場合は、1～24まで使用、など)
- **ラウンド制**にして遊ぶと、新たな深みが見えてくるでしょう！
その際は、**ラウンド毎にボーダーラインやボトムスを変更**すると、色彩感覚が毎回変わって、新たな気持ちでダイブができます！
- 遊び方は、ひとそれぞれ。ダイバーは、ダイバーシティであれ。

To be continued to falling deep...



発効日：2019年7月28日 第2版
発行者：コロラボ
ゲームシステム：HAIN
デザイン：Bee (https://twitter.com/odd_bee)